

峰のひかり

発行人
社会福祉法人 七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21-8

電話 (0172)33-8861

FAX (0172)33-8862

多くの方に支えられ

ボランティアの力

知的障害者
更生施設

拓光園

拓光園では色々な行事や日常の活動の際、多くのボランティアの方々から園し、利用者の皆さんと触れ合いながら様々な場面で支援して下さっています。今回はその様子をご紹介します。大運動会、納涼祭、拓光園祭などの行事には弘前学院大学、弘前福祉短期大学、弘前大学などのボランティアサークルの方々が毎回のように参加してくれています。利用者の皆さんの競技を補助したり、出店の手伝いをしたり、飾りつけから後片付けと、本当に学生の方々の力なくして行事は行えないというくらい、いつも大活躍してくれています。

また、夏休み、冬休み期間に行われる、障がい児短期訓練では弘前学院大学の学生の方々が企画から準備運営とその全ての過程に中心的役割を果たしてくれています。今夏も7月31日から3日間の日程で行われましたが、学生の方々が参加者の皆さんに積極的に関わって色々な場面で支援してくれるおかげで訓練にも身が入り、また楽しく

過ごすことができています。毎年の様に短期訓練に参加して下さる皆さんも学生の方々と触れ合えることを本当に楽しみにしている様子です。

また、日常の生活の中で私達を支えて下さっている方々もいます。岩木地区民生委員児童委員協議会婦人部の方々は毎月1回、利用者の皆さんの衣類の修繕のために来園して下さっています。取れかかっているボタンを付け直したり、擦り切れた個所に当て布をしたり、丁寧に繕って下さるおかげで洋服はとても長持ちし、皆大助かりです。

さて先日は弘前市、青森市の理容店15店舗でつくる理容技術研究会イーグルグループ(代表一戸勇二様)のなかのボランティア隊の方々16名が園を訪れ利用者の皆さんの散髪をしてくださいました。わざわざ理髪店まで出掛けて行かなくても園の中で散髪してもらえるとあって、希望者を募ると大勢の方が集まりましたが、ボランティア隊の方々の手際のおよさのおかげで待つ間もなく、あっという間に仕上がっていきます。隊長の高田義貞さんは「利用者さんと接する事で学ぶ事もある。これからボランティアを続けたい。」

と話していただきました。イーグルグループの来園は2年ぶりでしたが、これからも続けて下さるということで楽しみにお待ちしております。



更に拓光園は、開設以来、行事から日頃の活動まで全ての面において弥生地区の近隣住民の方々のご理解と大きな支援の手に支えられて今日まで成長する事ができました。これからも多くの人の支えを受けながら地域に開かれた施設作りを目指していきたいと考えています。



思い出に残った 夏祭り

身体障害者
療護施設

山郷館

七月二十六日、土曜日、皆さんが待ちに待った一大イベント『山郷館夏祭り』が行われました。

今年も、早くから準備に取り掛かり、利用者の参加で案内ポスター作りを始め、利用者、職員一丸となって作り上げました。

毎年、趣向を凝らした出し物がある中、今回は「三味線演奏(渋谷和生氏)」と毎年恒例の「登山囃子(十腰内登山ばやし保存会)」に加え、メインイベントとして『りんご娘コンサート』が行われました。

最初はきよとんとしていた利用者の皆さんでしたが、りんご娘が弘前出身のアイドルユニットだと知ると、親近感が沸いてきたのか会場は一気に盛り上がり、最後まで拍手がやみませんでした。コンサート終了後は握手会も用意されており、その際男子利用者一人が、少し恥ずかしそうに手を出していたのがとても印象に残っています。

イベントが大盛況の一方で、模擬店も大繁盛していました。山郷



館恒例の炭火での焼肉・海鮮焼きの他、焼きそばに焼き鳥、アイスにジュース、そして生ビールなど、沢山のメニューが用意されました。利用者の皆さんだけではなく地域の方々、ご家族の方々など、お腹がいっぱいになるまで食べて楽しんでいました。

この日は、一緒に食事をする機会が少ないご家族の方々と食事をする事ができ、利用者を囲んで、どこのご家族からも笑顔が見られ、嬉しそうな声が聞こえていました。最後まで笑い声が絶えない中、今年の夏祭りも大成功のうちに幕を閉じました。

準備段階ではとてもたいへんでしたが、皆さんが楽しんでいる姿を見ると、やりきったという気持ちでいっぱいになりました。疲れている中でも「次回は更にいい物を作ろう」という意欲がわいてきて、早くも来年の事を考えながら後片付けをしていたのでした。

楽しく働いています
通所事業

身体障害者
授産施設

旭光園

最後にになりましたが、ご協力して下さいました。最後になりましたが、ご協力して下さいました。最後になりましたが、ご協力して下さいました。

旭光園には、20名の方が通所利用しています。そのうち、7名の方は、隣接の『福祉ホームさわら』から、それ以外の13名の方は、ご自宅などからマイカーや自転車、路線バスを利用し通所しています。

準備段階ではとてもたいへんでしたが、皆さんが楽しんでいる姿を見ると、やりきったという気持ちでいっぱいになりました。疲れている中でも「次回は更にいい物を作ろう」という意欲がわいてきて、早くも来年の事を考えながら後片付けをしていたのでした。

旭光園には、20名の方が通所利用しています。そのうち、7名の方は、隣接の『福祉ホームさわら』から、それ以外の13名の方は、ご自宅などからマイカーや自転車、路線バスを利用し通所しています。

旭光園には、20名の方が通所利用しています。そのうち、7名の方は、隣接の『福祉ホームさわら』から、それ以外の13名の方は、ご自宅などからマイカーや自転車、路線バスを利用し通所しています。

旭光園
TEL 57-5155





食を豊かに

特別養護
老人ホーム
サンアップル
ホーム

「峰のひかり」第54号にて、特別養護老人ホームサンアップルの日」をひと月に2回設定していることをお知らせしました。では、夏場のメニューは？ということでは、今回は「バーベキューの日」を紹介いたします。

外での食事になりますので、寒くなく、暑過ぎず、風が穏やかで、旬な食材がある時、「バーベキューの日」は6月から10月、月2回行われます。季節の旬の食材を取り入れ、6月のある日のおすすぬ食材は、根曲がりダケ(通称曲がりダケ)とアスパラガス。曲がりダケは皮を剥かずにそのまま炭火焼きにし、アスパラも朝取りの新鮮なままに炭火焼き。その他の材料は、牛肉、海老、つくね、はんぺん、ピーマン、たまねぎ、ナス、豆腐の田楽。サンアップルホームのテラス6箇所にて、炭火焼きコーナーを設け、各箇所から、とてもいい香りが漂い



ます。特に、旬の曲がりダケとアスパラは、調味料をつけなくても、素材の香りと風味を十分に楽しむことが出来ました。

現代は、

食生活が豊かになり、冬でも野菜が食べられないということもなく、旬の食材の有難さ、感謝する気持ちが薄くなってきていると思います。単に行事食として捉えるのではなく、季節に合わせた料理方法で季節の食材を感謝していただくことを忘れてはいけません。豊かな食生活は、高価な食材を使った料理ではなく、旬な食材を旬な時期にいただくこととあります。

「太くて、いいタゲノゴおがってるぞご、おめさ知かへてな。」「いいミズは、沢さ入ねば、取れね。」利用者との会話の中で、もしかしたら、秘密の場所が分かるかもしれません。



目指すは
弘前で一番の
パン屋さん
知的障害者
通勤寮
拓心館

「パン工房エイブル」は昨年6月に産声を上げて、早くも一年以上が経過しました。

障がいを持つ方々が毎日通い、「お客様に喜ばれるパン作り」をモットーに、一生懸命作っています。「パンは生き物」という言葉があるように、その日その日の気温や湿度によって生地の状態が変化するため、日々悪戦苦闘しながら、パンと仲良くなれるよう頑張っています。

近頃では、お客様からの温かいご指導もあり、少しずつ上達して「おいしい」「エイブルのパンが食べたい」と嬉しい声も寄せられるようになりました。また、食品の安全が問われる昨今、消費者の皆様を決して裏切らないよう、保健所の指導を仰ぎながら厳しい衛生管理に努めておりますので、安心してお召し上がりいただけます。現在は、当法人7施設の給食と、外部施設4箇所、個人向け販売を行っておりますが、この調子でどんどん販路を拡大し、いずれは「弘前一のパン屋さん」になれたらと、パンも夢も膨らんでおりま

す。また、お客様のご希望に対応するため70種類以上のメニューを取り揃えておりますので、ぜひ一度ご賞味下さい。お気に入りの一つ、いえいえ2つ、3つが、きつと見つかるはずですよ。

これからもスタッフ一同どんどん勉強して腕を磨き、「他では食べられないおいしいパン」を提供できるよう努めて参りますので、何とぞご愛顧下さりますよう、お願い申し上げます。

《連絡先》

TEL... 3719060
FAX... 3719061

*確実にお客様のご要望にお応えするため完全受注生産となっておりますので、ご注文はお届け日の3日前までお願いいたします。





いわせて ネット

教員免許取得の条件として、福祉施設での実習が義務付けられる様になって以来、拓光園にも大学生の実習生が多く訪れるようになってきました。障がいを持った方と初めて接した学生の方々がどのような印象を持ったのかその声をお届けします。

「実習前は障がいを持った人に対して固定観念が頭の隅にあり、ネガティブなイメージばかりを膨らませ、自分の心の中にバリアを張っていたのかもしれない。しかし実際に利用者へ接して関わっていく事で障がいもその人が持つひとつの個性だということが分かり、利用者ともっと関わってみたいと思うまでに心境が変化しました。それも利用者の笑顔があったからだと思う。」

実習3日目のことであるが利用者のAさんと話をしている際、車椅子に乗っていた豚のぬいぐるみを指差して、私に似てるでしょ？と言うとAさんは声をあげてケタケタと笑ってくれ、そのときの笑顔が私の一日の疲れを吹き飛ばしてくれた。このような体験を通して利用者一人ひとりの個性やコミュニケーションのとおり方、入浴や食事の介助の仕方など様々な事を学んだ。

その中でも私の中で一番大きな変化は利用者に対する理解であった。」

弘前学院大学社会学部

北山 弥生

「今日初めて施設に実習で来て、利用者の方がとても気さくな感じで接してくれた事に驚きを感じました。私が話し掛けたり挨拶をすると近くまで寄って来てくれて初めてなのに親しい人のように接してくれてとても嬉しかったです。園の中はとても広い施設でした。もともとはりんご畑だったところだそうで施設内の廊下には多少上り下りがありますが、それはかえって利用者の方が散歩として廊下を歩くのには丁度度いい運動になるのではないかと思います。」

私は教員免許取得のためにこの実習をさせていただいています。将来教師になるかと思っている人にとってはこの知的障害者更生施設で実習することはとても意味のあることだと思いました。」

弘前学院大学文学部

須藤 織恵

実習経験を自分の将来の糧としていただければ幸いです。

平成20年度障害者福祉施設の 県指導監査について

平成20年度社会福祉法人及び社会福祉施設に係わる指導監査が、平成20年7月7日の山郷館を皮切りに、7月8日拓光園、7月10日旭光園、7月11日山郷館くろいし、7月15日拓心館、そして7月16日は法人本部と6日間に渡って実施されました。

奥田理事長、大平常務理事は全ての施設について各施設の管理者等と共に対応し、また、法人本部については、工藤、大河南の両監事が出席され、法人全般の状況について対応をいただきました。

講評では特に弘前市社協による第三者評価を各施設が自主的に受けている事について、地域や利用者の皆様に対する説明と納得が得られるサービスの質の向上と、事業運営の透明性を確保する、という観点から、高い評価をいただきました。

また、ヒヤリハットやセクハラ防止等について更に充実するようにと指導があり、今後これらについても改善する方向で進めたいと思っています。



| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>総合支援</p> <p>青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター 弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター 弘前市北部地域包括支援センター</p> <p>TEL 82-4520 TEL 31-2400 TEL 95-2100</p> | <p>障害者支援</p> <p>(主に知的)</p> <p>拓心館 TEL 82-4520 拓光園 TEL 96-2331</p> <p>(主に身体)</p> <p>山郷館 TEL 97-2211 旭光園 TEL 57-5155</p> | <p>特別養護老人ホーム</p> <p>サポートセンターわかば 弘前市大字若葉2丁目15 TEL 37-1165</p> <p>認知症グループホームわかば デイサービスセンターわかば サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-2131</p> | <p>居宅介護支援事業</p> <p>山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941</p> <p>サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131</p> <p>サンアップルホーム サンアップル短期入所生活介護センター サンアップルヘルパーセンター サンアップルヘルパーセンター TEL 95-3758 TEL 97-2778 TEL 97-2013</p> |
|--|---|---|---|